

平成21年度プロジェクト中間評価結果反映

主な反映方針	事業名	担当部	H21FY	H22FY	反映のポイント	評点				
			予算額(百万円)	予算額(百万円)		位置付	マネジ	成果	実用化	成+実
			当初	当初						
計画を一部変更し実施	インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト (H22FYより、がん超早期診断・治療機器の総合研究開発へ大括り)	バイオ部	600	1,220の内数	研究項目内の実施テーマについて、対象疾患の絞り込みを行うなど、中止を含めた見直しを行った。	2.4	2.1	1.7	1.4	3.1

平成21年度プロジェクト事後評価前倒し実施結果反映

事業名 ⇒後継事業名	担当部	反映のポイント	評点				
			位置付	マネジ	成果	実用化	成+実
多目的石炭ガス製造技術開発(EAGLE)[H10-H21, 事業総額328億円] ⇒ゼロエミッション石炭火力技術開発プロジェクト (革新的CO2回収型、燃料電池対応型)[H22-H26, 事業総額74億円見込]	環境部	後継「ゼロエミッション石炭火力技術開発プロジェクト」では、経済性の観点から、システム最適化にあわせた設備合理化に関する検討を進め、それを加味した実証試験計画を策定する。	3	2.4	2.7	2.1	4.8
太陽光発電システム共通基盤技術研究開発[H18-H21, 事業総額22.8億円] ⇒太陽エネルギー技術研究開発／太陽光発電システム次世代高性能技術開発 [H22-H26, 事業総額280億円見込、うち後継事業分50億円]	新エネ部	後継「太陽光発電システム次世代高性能技術開発」では、信頼性評価技術として、過去のフィールドデータ等を用いた寿命データ解析、太陽光発電システムの屋外曝露試験データの取得・分析評価による劣化要因抽出等を行う。	2.7	1.5	1.7	1.7	3.4
太陽光発電システム未来技術の開発[H18-H21, 事業総額97.8億円] ⇒太陽エネルギー技術研究開発／太陽光発電システム次世代高性能技術開発 [H22-H26, 事業総額280億円見込、うち後継事業分230億円]	新エネ部	後継「太陽光発電システム次世代高性能技術開発」では、低コスト化に係る技術課題等についてロードマップ(PV2030+)に基づきコスト目標を設定して事業を推進する。	2.3	1.7	2.3	1.6	3.9